

法人化40周年記念第40回階上町社会福祉大会開催

11月16日、ハートフルプラザにおいて「法人化40周年記念第40回階上町社会福祉大会」が開催されました。大会は、内閣府地域活性化伝道師 志村尚一氏による「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」と題した記念講演の後、階上小学校と階上中学校の児童・生徒より、ボランティア推進校活動発表があり、続く大会式典では、法人化から現在に至るまで長年にわたり社会福祉発展にご貢献された方や社会福祉関係者、高額寄付者、高額物品寄付者、社会福祉作文入選者に対する表彰、社会福祉作文で最優秀に選ばれた續石愛桜さん（道仏小4年）と日向美沙貴さん（階上中3年）の作文発表などが行われました。

これまで、階上町の福祉向上と社会福祉協議会の発展にご尽力いただきました関係者の方々、温かいご支援とご協力をいただきました町民の皆様に深く感謝申し上げます。

今後も、「ともに生き支えあう福祉のまちづくり」の実現を目指し、一層の地域福祉推進に取り組んでまいりたいと思います。これからもご支援ご協力を宜しくお願い致します。

なお、表彰を受けられた方々は以下のとおりです。（敬称略・順不同）

名誉大会長伝達

- ・全国民生委員児童委員連合会会長表彰
川浪 秀一 山下 和子 松川 由香 十文字倉男
- ・青森県社会福祉大会長表彰
中村みさ子（民生委員児童委員） 前村 律江（石鉢保育園職員）
- ・青森県共同募金会長表彰
中田 兼雄（大蛇区長）

名誉大会長授与

- 《特別表彰の部》 役員等永年勤続者
河内 宏心
- 《表彰の部》 福祉団体役員等永年勤続者
中田タエ子（町赤十字奉仕団役員） 畑中 和子（町赤十字奉仕団役員）
中田 兼雄（町社協評議員） 濱谷 行子（町社協職員）

大会長授与

- 《特別感謝の部》 特別賛助会員永年協力者
30年以上 上野 正蔵 正部家佑介
20年以上 根岸 勇蔵 平野 建悟 畑中 弘實 浜谷 豊美
10年以上 百目木和俊 上 博文
- 《感謝の部》
・高額寄付者（5万円以上）
地代所良作 階上町連合婦人会 花美流律舞会 階上町文化協会
ボランティアサークルけやき
- ・高額物品寄付者 有限会社太田技建（車椅子1台）
- 《表彰の部》 平成30年度階上町社会福祉作文入選者
最優秀 續石 愛桜（道仏小4年） 日向美沙貴（階上中3年）
優 秀 田村 伶美（赤保内小6年） 月舘 りの（階上中1年）
佳 作 鈴木みはる（赤保内小3年） 福井明日果（階上小5年）
中島 有唯（石鉢小6年） 河村 果耶（石鉢小6年）
新井田美羽（大蛇小6年） 中田 凜（階上中1年）
石沢 愛莉（道仏中1年）



表彰を受ける中田兼雄さん



講演の志村尚一氏



階上小学校によるボランティア推進校活動発表



階上中学校によるボランティア推進校活動発表

平成30年度チャリティバザー寄付者（敬称略・順不同）

地区名	寄付者名
石 鉢	神成信俊、似内貴美子、中村ヨネ子、野沢トキ、佐々木ミサ、坂上コト、長坂豊子、宗前ウメ、郷州久子、平野悦子、加賀サエ
蒼 前	小室行弘、工藤智弘、木村鉄男、西館節、山内良子、音喜多祝子、中村和子、大下玲子、石田セツ、遠藤富喜子、石山美喜子、江良みつ子、宮崎真佐子、斎藤京子
野 場 中	上重一男、関敏雄、高橋茂男、尾本嘉春、磯島富盛、楢山幸雄、佐藤昌澄、嵯峨有孝、工藤友子、田口コト、馬場扶雄江、木村幸子、熊谷唱子、赤坂由紀江、名久井律、諏訪トク、釜谷とわ、沼野美差、菅野尚子、上野栄子
角 柄 折	松川純悦、松川金次郎、正部家和子、松川ミチ、松川政子、南平ユキ
金 山 沢	堀合勝美、庭久男、佐藤光一、畑中チセ子、小鷹のり子、畑中順子、畑中誠子
田 代	内城君子、戸草内チヨ、水合千枝
晴 山 沢	荻沢一信、根岸忍
平 内	南正人
鳥 屋 部	木村ツセ、伊藤ツサ、地代所幸子、鹿原タカ、鹿原恵子、沼沢コト
赤 保 内	成田北士、奥山能久、東山京子、福井靖恵、
耳ヶ吠西	田中真、袖平宏之、野沢幸作、田中綾子、小松千恵子、小松サチ、吉田定子、小松マツエ、浜道登美子、阿部栄子、渡部みどり
耳ヶ吠東	西田和雄、蔦林正、山守哲也、飯干温信、北田繁幸、山口彰、宇部浩嗣、荒沢ハルエ、藤谷フサエ、川口芳子、浜浦孝子、山崎ムツ、松崎光子
荒 谷	境栄治、荒谷恵子、畑中優子、荒谷さみ子、木村キミ
大 蛇	中田兼雄、中田美亀男、中田久夫、前田一男、上野洋、中田牧子、中田タエ子
追 越	中島豊美、二ノ久保利津子、松橋竹子
榊	日向登美男、北城幸男、浜谷徳平、浜谷真土香、榊テツ子、濱谷行子
駅 前	寅谷正美、中田功、守政美、南上邦子、寅谷子工、竹本肥子、新井田トミ、下坪昭子、見附敬子、有谷智子、小松りつ、松橋たつ、濱浦すみ子、佐藤オテウ、関谷京子
道 仏	高山貞子
小 舟 渡	上平稔、下野秀男、下野禮知子、下野京子、佐藤紀美子、重文字春枝、藤田テイ子、権代良子、久保沢洋子、佐京勝江
町 外	川浪孝雄、鈴木洋、信田テイ、森一晃

大盛況の二日間
 ～チャリティバザー～
 十一月三日、四日の二日間、町民文化祭に併催しチャリティバザーが開催されました。チャリティバザーはボランティアサークルけやきが主催で毎年開催させていただいており、今年も

たくさんの方々から一、七〇〇点以上の物品のご寄付をいただき、二日間とも大盛況に終わりました。なお、売上金二六〇、九九二円から必要経費を差し引いた全額を社会福祉活動費として社協へご寄付いただきました。ご来場並びに物品寄付にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。本紙上をもってお礼にかえさせていただきます。



あたたかいご寄付 ありがとうございます

- ボランティアサークルけやき 様 金 253,665円
- 青森県市町村職員年金者連盟三八支部 様 金 5,000円
- 階上町職員退職者連絡会 様 金 76,422円
- 有限会社 太田技建 様 車椅子1台



ボランティアサークルけやき様



有限会社 太田技建様

編集発行：社会福祉法人 階上町社会福祉協議会 住所：階上町大字道仏字天当平1-182 ハートフルプラザ・はしかみ内
 ☎0178-88-3067 FAX 88-3069 E-mail: hashikami-shakyo@citrus.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.shakyo.or.jp/hp/220/

この広報誌は、4,600部作成し、印刷経費は1部あたり20.66円です。（県共同募金会から配分を受けて発行しております。）

弁護士による 無料法律相談

【赤い羽根共同募金配分事業】

～相続・財産・多重債務・土地のトラブルなど～

- 日時 12月25日（火）
午後1時から午後3時
（1人20分以内）
- 場所 ハートフルプラザ・はしかみ
・相談は予約制（先着6名）です。

予約受付

階上町社会福祉協議会 ☎88-3067



QRコード

社会福祉作文入選作品

第三十九回社会福祉作文に、今年は六十二編の応募をいただき、審査会において十一編の入選作品（最優秀二編、優秀二編、佳作七編）が決まりました。その中から最優秀の作品をご紹介します。

【最優秀】

「みんなの幸せ」

道仏小四年 續石 愛桜



私たちは四年生は、総合的な学習の時間に、「私たちにできること、福祉を考える」の勉強をしました。その後、国語の勉強の「新聞を作ろう」で調べたことをまとめて新聞を作りました。

まず私は、階上町ではどんな福祉活動をしているのか調べるために、パソコンを使って「階上町の福祉」と入力してみました。すると「階上町社会福祉協議会」と出てきたので、社会福祉協議会ではどのようなことをしているのか調べてみることにしました。

パソコンや社協だよりを使って調べてみると、事業内容には、道仏小学校のみんながやったことのあるほ金活動などがあり、階上町に住む人たちのためになることをたくさんしていることが分かりました。

それらの事業の中で、私が一番きょう味を持ったのは、「給食サービス」というものです。これは、一人ぐらしの高齢者等の食生活の支えんと安び確認をするためのものです。週に二回、一食四百円でお昼にお弁当を配達するそうです。また、年末におせち料理をとどける、年末にし給食サービスというものもあるそうです。

一人ぐらしのお年よりは、お買い物に行くのも大変だし、一人で料理を作るのも大変だと思っています。それに、一人だと少しさみしい時もあるかもしれないので、とどけてくれる人と話せたら、さみしくなくなると思います。高れ

い者の方がおいしく食べられたい、安心して安全にくらせるようにしたりしているのが、すてきだと思います。私は、調べたことを写真も使って新聞にまとめ、学級の友達に発表しました。すると、「給食サービス」のことがよく分かった。」

と、みんなが言ってくれました。とてもうれしくなりました。

私の大野のおばあちゃんも、お年よりにおいしいご飯を作るお仕事をしています。おばあちゃんは、老人ホームの調理士です。

「ご飯を作る人が二三人で、朝に八十食、昼に百二十食から百三十食、夜に八十食を作るそうです。はたらく人の数が少なく、いそがしいのではないかと思います。時間的には、早番やおそ番があるそうです。冬の早番は道路がおこつていたり、夏は調理場が暑かったりするそうです。とても大変だなと思います。土曜日や日曜日もお仕事だけれど、おばあちゃんは、私の学校の行事の時は、お休みをとって見に来てくれます。お年よりのためにがんばってはたいて、私のことも幸せにしてくれるおばあちゃんは、

本当にすてきだと思います。私は、この福祉の勉強をして、私もみんなが幸せになれることをしたいと思うようになりました。どのようにすれば、みんなが幸せかをこれから考えていきたいと思います。そして、みんなも自分も幸せにくらしていきたいです。



【最優秀】

「大きな家族に」

階上中三年 日向 美沙貴



祖母の叫び声と、大きな音で目が覚めました。

母は真っ先に飛び起きて、電気をつけました。部屋から走り出たわたしの目に飛びこんできたのは、階段から落ち、頭から血を流して倒れている祖母の姿でした。今までに見たことのない祖母の姿を見て、わたしは声を出すことができませんでした。一緒に暮らしているということ、叔父夫婦も起きてきて、みんなで祖母の血を止めようと、頭に布を押し付け必死で押さえました。母はすぐに一九九へ連絡し、祖母に付き添って一緒に救急車に乗って行きました。

母と祖母が行ってしまった。家は急にしんと静かになりました。「おばあちゃん、大丈夫かな。」「もしこのまま帰ってこなかったら……、ぐっしょい。」

きつとみんな、同じことを

考えていたのです。けれど、怖くて怖くて、決して口に出せなかったのです。わたしは十四年間生きてきた中で、あんなに怖い時間を過ごしたことはありません。

深夜を過ぎて、母はやっと帰ってきました。そして母の顔を見たとき、「おばあちゃんは大丈夫」ということが無言で伝わり、ほっとしました。けれど、祖母は背骨が折れ、右腕も骨折、加えて頭部を強打し裂傷を負ったので、大変な重傷ということでした。

次の日から、母は毎日病院に通うようになりました。わたしにも祖母の辛さや、母の大変さはひしひしと伝わってきました。だから、自分のことや、できる家事などはやろうと決心しました。洗濯は自分でやり、ご飯はひとこと協力しながら作りました。実際にやってみると、とても時間がかかって、体力を使って、母がいつも仕事と家事を両立していたことがどれだけ大変なことだったのか、実感として分かりました。

「いろいろやつてくれてありがと。本当に助けられているよ。」

と母から言われたときは嬉し

くなりました。

けれども、一緒にいる時間が減り、とても寂しかったのも事実でした。

一カ月が経ち祖母は退院しました。「やっと元の生活に戻れる」と思いました。……が、本当の意味で家族が大变になるのはそれからだったのです。

祖母の折れた右手では、お箸を持つこともできません。食事の時は、スプーンで食べさせました。トイレにも寝所にも付き添い、手伝いました。もちろん一人では歩けないので、自分の肩に祖母の腕をかけて、祖母のペースに合わせてゆっくりゆっくり歩きます。今まで以上に、わたしの体力と時間は奪われていきました。そして、どれだけわたしが手伝ったとしても、一番大変なのはやはり母でした。みんなが仕事や学校に行っても、母だけはつきっきりで介護をしていたからです。

今では祖母も元気になり、自分の足で歩く生活を取り戻しました。けれどわたしは、あの日々のことを思い出すと胸がいつばいになります。それは、わたしたち家族のこの先を垣間見たからです。祖母はまたいつか介護が必要にな

配達ボランティアを募集します

社協で実施する「年末年越し給食サービス」に関わる、配達（運転）ボランティアを下記のとおり募集いたします。

- 期 日 平成30年12月31日（月）
- 活動時間 午後1時～3時（集合時間12時20分）
- 集合場所 ハートフルプラザ・はしかみ
- 内 容 75歳以上のひとり暮らし高齢者のお宅へおせち料理の配達
・配達は自家用車となります。
階上町内5件～10件程度
- 配達範囲 12月19日（水）
- 申込期限 ・車両燃料は自己負担となります。
・ボランティア活動保険は本会で加入いたします。
- そ の 他 階上町社会福祉協議会
電話 8 8 - 3 0 6 7
- 申 込 先

年末年越し給食サービス をご利用ませんか

～おせち料理をお届けいたします～



社協では、下記のとおり年末年越し給食サービスを実施します。利用ご希望の方は社協までご連絡ください。

- 期 日 平成30年12月31日（月）
 - 配達時間 午後1時～3時
 - 利 用 料 無料
 - 対 象 者 町内在住で75歳以上のひとり暮らし高齢者
・平成30年12月31日までに75歳に達する方
・大晦日をご家族、ご親戚等と過ごされる方は除きます。
 - 申込方法 氏名、住所、年齢、電話番号を 12月21日（金）までに社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。
 - 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話 8 8 - 3 0 6 7
- ※年末年越し給食サービスは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施します。